

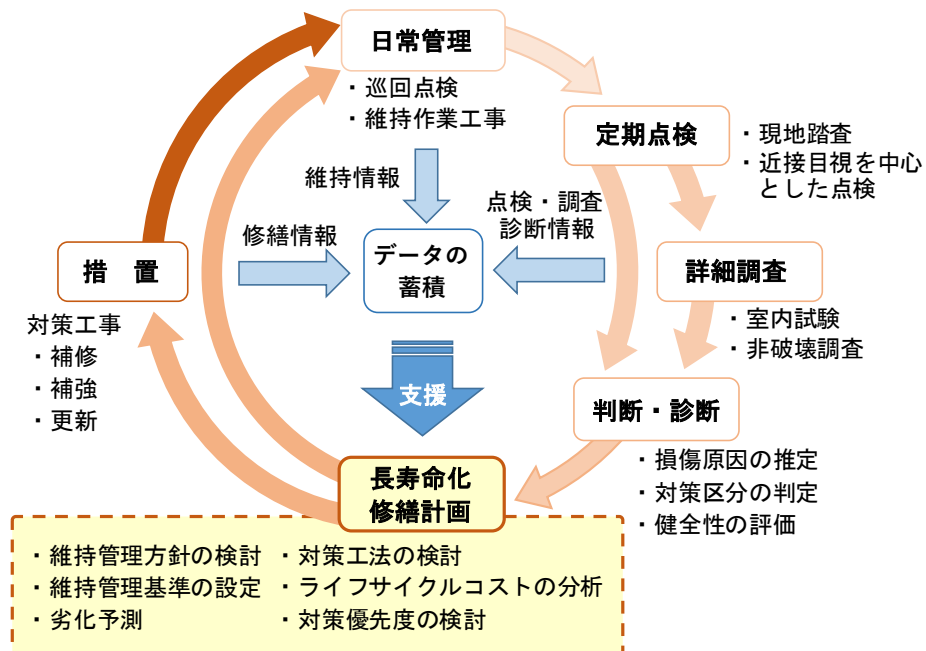
# 長寿命化修繕計画の策定

## 目的

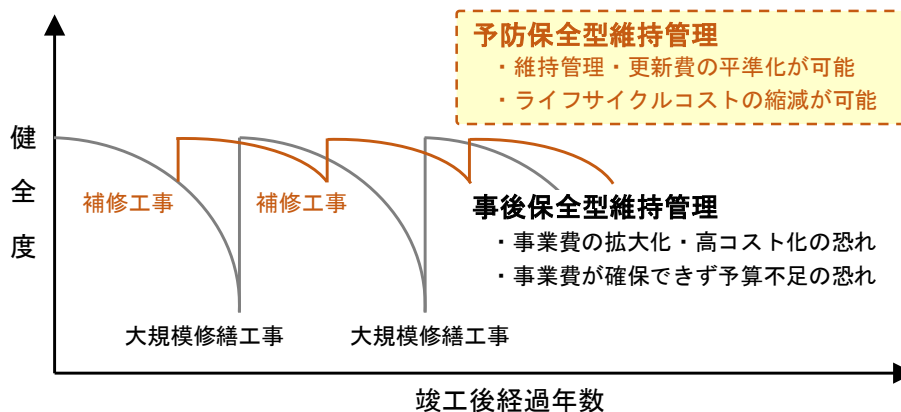
限られた財源の下、維持すべきインフラ機能の適正化を図り、戦略的に維持管理・更新等を行うことが求められています。当社では、老朽化が進む既存橋梁について、施設の長寿命化ならびに中長期的な維持管理・更新等に係わる方向性を定めることを目的に長寿命化修繕計画を策定します。

## 内容

橋梁の長寿命化ならびに計画的な維持管理による修繕費等の縮減・平準化を図るため、橋梁の状態を正確に把握し、個別の施設計画を策定します。計画の策定にあたっては、予防保全型維持管理の考え方を導入し、橋梁毎の維持管理・更新等、講ずべき措置の内容や優先度、実施時期を検討します。



既設橋梁のメンテナンスサイクル



予防保全型維持管理の考え方

## 技術ポイント

### (1) 維持管理データの整備

- ・ 建設年度や構造形式等の施設諸元や現在の損傷状況が不明な橋梁に対し、既存資料の収集・整理、現地調査・点検等を行い、維持管理に必要な情報を整備します。
- ・ 点検結果等を基に橋梁で確認された損傷について、その原因を推定し、その損傷が橋梁の機能に及ぼす観点から橋梁の健全性を診断し、個別施設の状態を把握します。

### (2) 維持管理基準、将来予測の検討

- ・ 橋梁の利用状況や設置された環境、構造条件等、橋梁毎の特性に合わせ、橋梁の長寿命化に係わる課題を整理し、必要な取組方針（点検頻度、点検項目、体制等）を検討します。
- ・ 中長期的な視点から計画的に維持管理を行ううえで必要となる劣化予測やライフサイクルコスト分析に関する手法については、最新の知見や当社保有のノウハウを基に適切に設定します。

### (3) 予防保全型維持管理の導入

- ・ 損傷が深刻になってから対処する事後保全ではなく、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の考え方を導入し、橋梁毎の維持管理・更新等の行動計画を立案します。

### (4) 対策工法の設定、対策優先度の検討

- ・ 維持管理が容易かつ確実に実施可能な対策工法を検討します。
- ・ 地域の橋梁修繕の実績を分析し、計画策定に用いる単価等を設定します。
- ・ 対策優先順位の考え方を明確にし、点検や修繕、さらには廃止・撤去、耐震化等必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を橋梁毎に整理します。

## 事業の流れ〔当社の実施範囲〕

橋梁長寿命化修繕計画策定業務	内 容
維持管理データの整備	既往資料の収集・整理、現地計測、一般図作成
現状把握・健全度評価	点検・調査、損傷等の原因究明・健全度評価
劣化予測	診断結果や既存点検データに基づく劣化の進行予測
維持管理基準の設定	設置環境、構造条件等を考慮した取組方針の検討
対策工法の選定	劣化状態を考慮した最適工法の選定
対策優先度の順位付け	効率的・効果的な補修補強時期の算定と順位付け

## 当社の実績

- ・ H26「安全施設管理費(単県)の内 横断歩道橋修繕計画策定業務委託」 愛知県 豊田加茂建設事務所
- ・ H26「安全施設管理費(単県)の内 横断歩道橋修繕計画策定業務委託」 愛知県 尾張建設事務所
- ・ H27「橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託」 愛知県 東海市
- ・ H27「林道橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託」 愛知県 東栄町

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部(TEL. 052-979-3960/FAX. 052-979-3970)